

## 島根県初記録となるアマクサキジラミについて

庄 司 鉄 平\*

### First record of *Cacopsylla amakusensis* (Kuwayama, 1939) in Shimane Prefecture

Teppei Shoji\*

#### 1. はじめに

アマクサキジラミ *Cacopsylla amakusensis* (Kuwayama, 1939) は、これまでに沖縄県、熊本県、福岡県、愛媛県、山口県、兵庫県から記録（井上，私信）されているカメムシ目キジラミ科の昆虫である。全長約 5mm，体は青緑色で，胸背は淡青色，前胸背板の両側と中胸楯板の両側に橙黄色の模様を持ち，成熟個体は顔面が白色となる（桑山，1939）。採集例がほとんどなく，数年前まで宿主が不明であったが，近年サカキ科のモッコク *Ternstroemia gymnanthera* を宿主としていることが判明した（井上，2018）。この度，島根県で初めて本種が確認されたのでここに報告する。

#### 2. 方 法

確認場所は島根県松江市古志原にある筆者の自宅で，2023年6月26日の日中，自宅窓ガラスの外側にとまっていた雌の成虫1個体を発見した。写真撮影後，標本用に冷凍殺虫をした。7月2日に島根県立三瓶自然館へ電話連絡し，後日確認のため標本を郵送した。7月11日に，島根県立三瓶自然館の皆木宏明氏，国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の井上広光氏より，この個体がアマクサキジラミであり，島根県では未記録の種であるという回答を得た。その際，井上氏より，「本種は植栽された木で発生することはあまりなく，枝葉が茂った自生モッコクで発生することが多い」という情報提供があった。

今回確認した個体は偶然コロニーのあるモッコクから飛来してきたものであると考えられるため，後日自宅周辺に植栽されている数本のモッコクでコロニーを探したが，発見できなかった。しかし近場にコロニー

があると考えられるため，今後も調査を行う予定である。

宿主となるモッコクは民家などによく植栽されているほか，沿岸部の林にも自生するため，島根県内でも今後本種の生息が確認される可能性はあると思われる。

なお，今回確認した個体は標本化し，島根県立三瓶自然館で収蔵している。

#### 3. 結 果

発見日：2023年6月26日

発見個体：アマクサキジラミ *Cacopsylla amakusensis*  
1♀

採集場所：島根県松江市古志原



図1 採集したアマクサキジラミ

\* 島根県立松江南高等学校，〒690-8519 島根県松江市八雲台 1-1-1

The Shimane Prefectural Matsue Minami high school, 1-1-1 Yakumodai Matsue Shimane 690-8519, Japan

## 謝 辞

本報告にあたって、急な連絡にもかかわらず快くご対応、及びこの度の発表の機会を与えてくださった島根県立三瓶自然館の皆木宏明氏、本種の同定と既知の記録に関する情報を提供していただいた国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の井上広光氏にこの場を借りて深謝いたします。

## 引 用

- 井上広光 (2018) グラビアシリーズ：昆虫の横顔 風変わりなキジラミ. 昆虫 (ニューシリーズ), 21 (3) : 202-204.
- 桑山覺 (1939) 天草島の木虱類. 動物学雑誌, 51 (7) : 535-537.